



切り絵／寺本 正尚

再びお晨朝のすすめ

すっかり春の陽気が漂いはじめました。冬が一足飛びに、春と夏を呼ぶ。北海道には、そんな大地の躍動があります。

爽やかな朝のひととき、本堂では朗々と読経の声が一ぱいに満ち溢れます。

そのなかに身を置いていると、次第に背筋がまっすぐに伸び、憂いや愚痴が洗われて、生きているなどの実感が、軽い緊張を伴つて体中をかけめぐります。

まつさらな朝のどまんなかに、今日も生きている、生かされている。

近ごろ、お参りが一人またひとり増えできました。私たち院内の者も含め、二十人くらいでしようか。

再びおすすめします。お晨朝に参加下さいますことを。健康にもつながります。そして何よりもすがすがしい一日が始まります。いのちの鼓動がそこにあります。試しに一度お参り下さい。朝六時半からです。あなたのお越しをお待ちします。

輪番 佐々木俊朗

あれあいの寺 西本願寺函館別院

函館市東川町12番12号 ☎(0138)23-0647



お西さんテレフォン法話
24時間お好きなときにいつでもどうぞ
にし にし
0138 27局 2424番

- | | |
|------------------------|------------------------|
| ● 4月28日(日)～5月 4日(土)…輪番 | ● 6月 2日(日)～6月 8日(土)…薄田 |
| ● 5月 5日(日)～5月11日(土)…黒番 | ● 6月 9日(日)～6月15日(土)…輪番 |
| ● 5月12日(日)～5月18日(土)…輪番 | ● 6月16日(日)～6月22日(土)…吉岸 |
| ● 5月19日(日)～5月25日(土)…山番 | ● 6月23日(日)～6月29日(土)…輪番 |
| ● 5月26日(日)～6月 1日(土)…輪番 | ● 6月30日(日)～7月 6日(土)…石黒 |

5月19日(日)は、降誕会のため月忌参りをお休みさせていただきます。ご希望の方は、振替でお参りいたしますのでご連絡下さい。

■簡単なようで…難しい■

長い冬も終わり、やつと春の匂いがして来ました。四月に入り雪の降った日もありましたが、「北海道にもやつと春が来たな」と思う毎日です。

台町の出張所の方では、落のとうもあちらこちらに出ています。茶色だった草木も待ちわびたように、少しずつですが青く芽を吹き、綺麗な花を咲かせる季節になりました。

落のとうもあちらこちらに出ています。茶色だった草木も待ちわびたように、少しずつですが青く芽を吹き、綺麗な花を咲かせる季節になりました。

お仮壇の花とお花を飾りされています。宮前町の二本松さんもいつもお仮壇を綺麗にされ、美しいお花をお飾りされています。正しいお葬儀や毎日のお給仕。簡単なようでも本当に難しいことです。

お仮壇のお葬儀や毎日のお給仕は、私の仏さまへ対する心が素直に現れるものです。大切にしたいですね。

(吉村)

■函館のおつかさん■

赤川一丁目にお住まいの堀川さんのお宅にお参りに行くと、いつも手料理をごちそうしてくれます。また、東山町にお住まいの本間さんもいつも手料理をごちそうしてくれます。おいしい手料理をいたたくときは何かホッとする一時です。

(小笠原)

堀川さんと本間さんは、まさに函館のお母さんといふ感じです。また私をホツとさせてくださいね。

(山岸)

「お寺さんに見せてあげようと思つてたんですよ」と言つて、深堀町の中西さんは蓝色のクリッショングを取り出しました。

お孫さんが中学三年生の時に家庭科の実習で作ったものだそうで、その両面には、二人が手をつないで歩いている姿が白く描かれてありました。

「実は孫が、昔、おばあちゃんが手をつないでくれて、私を幼稚園とか、いろいろと連れていてくれたから、今度は私がおばあちゃんをいっぱい

ばあちゃんが手をつないでくれて、私を幼稚園とか、いろいろと連れていてくれたから、今度は私がおばあちゃんをいっぱい

ばあちゃんが手をつないでくれて、私を幼稚園とか、いろいろと連れていてくれたから、今度は私がおばあちゃんをいっぱい



■素敵なプレゼント■

「お寺さんに見せてあげようと思つてたんですよ」と言つて、深堀町の中西さんは蓝色のクリッショングを取り出しました。

お孫さんが中学三年生の時に家庭科の実習で作ったものだそうで、その両面には、二人が手をつないで歩いている姿が白く描かれてありました。

イタ君まで家族三代でお参りをしてくださいます。そして、おどろくことに、御命日の日にはみんなで必ず墓参りにいくそうです。お正月には深い雪の中のお参りだつた様です。どうもおかれさまでした。これが正月には深い雪の中のお参りだつた様です。どうもおかれさまでした。これが

墓参りにいくそうです。お正月には深い雪の中のお参りだつた様です。どうもおかれさまでした。これが

どうぞ五十歳さんこれからも、せすにおれない、させて下さり。

された方の中に新しいお顔が見えました。宝来町の中

が見えました。宝来町の中

（石丸）

にしん 通信



雪もすっかり解けはしたものの、なかなか暖かくながらません。ここ江差もご多分に漏れずまだまだストーブが離せません。テレビなどの情報によりますと、5月の連休が待望の桜の開花だそうですが、この気候では本当に咲くのでしょうか？しかし、江差別院の回りでは春をつける鳥のなきこか土の匂い或いは海の匂いがしてとても心地よく、

「あ！春が来たな」と感じます。この感じは言葉ではなかなか表せませんが生きていています。そんな様子を感じ、眠つてください。一度お立ち寄りください。

利国特派員

納骨堂永代経法要

■日時■

6月16日(日) 午後1時より

■会場■

西別院納骨堂

■法話■

佐々木輪番(本堂にて)

※尚、6月の十六日会は12時より始めます。

五木寛之作 前進座公演 「蓮如」

(日 時) 6月24日(月)

午後3時開演
(2時30分開場)

(会 場) 函館市民会館

(観劇料) 前売 / 5,500円
当日 / 6,000円

一江差別院

降誕会

6月21日(金)

午後1時より

会場

江差別院本堂

法話

佐々木輪番

函館別院

宗祖降誕会

5月18日(土)・19日(日)

18日
(土)

13:30～降誕会法要
14:00～記念講演
15:30～奉讚の集い

19日
(日)

10:30～園児参拝
11:30～初参式
11:30～バザー

尚、5月の19日(日)は月忌参りをお休みさせていただきます。
ご希望の方は振替でお参りいたしますのでご連絡下さい。

日程/6月18日(火)

集合・解散/午前10時函館駅西口集合
(送迎バス) 午後5時同駅にて解散

行先/恵山荘(穂法華村国民宿舎)

会費/5,000円

申込み/西別院 寺務所へ6月16日(日)
までにお申し込み下さい。

門徒さん 日帰り旅行

3月18日お彼岸のお参りに来まして、お経を頂き有り難うございました。ご丁寧なご挨拶をされて恐縮致しました。又先月2月27日に娘が父親のご命日のお参りと外の事でお願いに上がりまして日帰りで青森に戻りましたが、当日接して下さったお坊さんがとても親切にして下さり本当に感謝して居りました。よろしく申して居りました。

駒場町 北村基子

3月20日(水)
寒い日が続いていました。
今日はひとりでのお参りですが、
来て良かったにつきます。
上の町 れい子

本堂の雑記帳より

の 花 束



平成8年3月8日(木) 午後12時05分
盛岡～秋田～青森～函館と出張し、
本日盛岡へ戻り、10日に帰浜いたします。
出張中はお寺へ参拝する時間もありませんが、
今回は列車の時間がありましたので、
参拝させて頂きました。
今後また来る機会がありましたら
参拝させて頂きます。

東京教区鎌倉組長生寺門徒推進員 橋井宏

最後のお説教を来た時に
いつもきいています。
どれも感心するようなお話を
とても気に入っています。

市内豊川町13-9 齋藤 桂奈江

お参りさせていただきました。
ありがとうございました。

栃木北組光尊寺門徒 猪狩 邦夫・ハルエ

龍谷幼稚園で~す

「新しいお友達」

加野井 麻子先生

龍谷幼稚園も新年度がスタートし、今年もまた小さなかわいいお友達が仲間入りです。

入園式にはおうちの方々と一緒に登園し、元気な姿を見せてくれました。

お母さんと離れたがらず泣いている子・

興味津々でキヨロキヨロあたりを見回す子・力チカチに緊張している子など、子ども達の表情は様々でした。「今年はどんな子ども達がくるのかな?」と私達もとても楽しみに待っていました。

子ども達にとつては初



ようこそ常例布教へ

毎月十一～十六日午後一時半より

(6月) 佐々木 俊丸 先生
(5月) 増山 顕佑 先生

※尚、毎月十六日は輪番法話です。

また、十二時半より「十六日会」ですが
六月は納骨堂永代経法要のため
十二時より始めます。

●五月二十五日
●六月二十九日

会場 日吉町熊谷宅にて
お問い合わせ (0138) 54-6859

おくやみ申しあげます。
土曜の会へ行こう

永代経懇志
ありがとうございました。

編集部から

親しくしていただいたご門徒さんが次々と亡くなられ、本当に寂しい限りです。行年九十歳のおばあちゃん、三十九歳のお母さん、まさしく「老少不定」の教えの通りです。

今までそこにあった姿が見えない、今まで聞こえていた声がもう聞けない、そういう現実とともにかけがえのない命であったことが知らされます。でも私たちには再び出会う処があります。限はあるけれど尊い命、はかないけれど輝く命、これかららい毎日が始まると思いますが、お互い受け継いだ命を精一杯生きぬきましょう。

(石丸)